

年 組 名前：



丹波中の生徒は、9月に丹波山村
内で開かれた「舞茸祭」の売上金を
活用し、村に村のマスコットキャラ
クター「タバスキー」の像を贈る。
生徒総会を19日に開き、村が建設し

祭り収益で「タバスキー」像

村に贈る品について
意見を交わす生徒
—丹波中

丹波中生、村新庁舎に寄贈へ

像は今後、県外の製造業者に発注。
村に対しては本年度中の寄贈を打診
する。生徒会長の鶴田佳宏さん(15)
は「全会一致ではなかったが、売上
金を村のために使おうという思いは
全員が共有している。結果をもとに
しっかりと準備し、寄贈を成功させ
たい」と話していた。(深沢澤)

ている役場新庁舎の供用開始(来年
4月予定)に合わせて贈呈を決めた。
丹波中の生徒は9月、3年ぶりに
開かれた舞茸祭に合わせ、生徒が育
てたマイタケを使用した炊き込みご
飯「かてめし」と豚汁を出品。計18
万1200円を売り上げた。
祭りへの出品は初めてで、得た売
上金の使い道について生徒会で検
討。村にまつわる絵画とタバスキー
像のどちらを選ぶか議論し、1〜3
年生8人が絵画のテーマや像の形な
どについて意見や希望を話し合っ
た。多数決により、高さ60センチほどの
黄色いタバスキー像を贈る方針を固
めた。

(2022年12月29日付 山梨日日新聞15面)

問1

丹波中の生徒は、「舞茸祭」で何を出品し、いくら売り上げましたか。

.....
..... 円

問2

売上金の使い道で、候補に挙がった2つを教えてください。

.....

問3

贈呈する予定の「タバスキー」の像を、説明してください。

.....